

大谷健夫 （大谷健夫） 小説家。明治二十三年山口縣生れ（一九〇一）。七歳  
の時のら大陸生活。滿鐵人進圖書館勤務、終戦後旅大市圖書館、重慶  
圖書館を経て昭和二十五年歸國。二十四まで諸橋大漢和辭典の編纂  
校正に加はる。

著書 清代食貨志選編（一、戸口）一附、清史稿の成立と其の性格』

（天海謙二郎共著、昭和十八年一月）二十五日大連・南滿洲鐵道株式會

社「滿鐵調査研究資料」）、『天を射る』（昭和二十五年五月）二十五

日（二書房）等。

